

「雲の教室」挿絵　1980 年代中期　水彩　ギャラリーミクロコスモス蔵

# 岩田道夫のワンダーランド

## この多彩さ、この徹底。そして、この清澄さ。

その日、ミドリの　教室は、雲の
上に　ありました。
「先生、どうしたのでしょう。」
と、さいしょに　ミドリが　まどの
そとを　ゆびさすと、みんな、
「ああ。」と　立ちあがって、まどの
そとを　見ました。
先生も、まどの　下の　ところに
こられて、
「ああ、これは　じょう気ですね。」
と、ぼんやり　ゆめ見るように
いわれました。
「先生、ここは　空なんでしょうか。」
と、ミドリが　いうと、
「さあ、空なんでしょうねえ。」
と、先生は　くびを　かしげて、
ぽんと　こくばんけしを　そとに
なげました。

岩田道夫『雲の教室』より

2026 年 12 月 19 日（土）〜 2027 年 3 月 22 日（月・振休）

**北海道立文学館　特別展示室**

休館日：月曜日（ただし 1 月 11 日、3 月 22 日は開館し、1 月 12 日/火 は休館）、12 月 28 日〜1 月 4 日

開館時間：午前 9 時 30 分〜午後 5 時　＊展示室入場は 4 時 30 分まで

観覧料：一般 500(400)円　高大生 250(200)円　（ ）内は 10 名以上の団体　＊中学生以下・65 歳以上は無料

網走に生まれた岩田道夫（1956〜2014 年）は、文学、美術、音楽など多方面に稀有な才能を発揮。'92 年には日本児童文芸家協会新人賞を受賞し、児童文学者の佐藤さとるに「一個の純粋な精神から、あふれてこぼれた言葉のしずくのような作品」と激賞されました。しかしその後、他者からの評価への意識を退けるため発表を固辞するようになります。57 歳で没するまで、自身がほんとうに読んでみたい作品だけを書く（描く）ことに集中しました。

このたびは、作品を託された村田和子氏のご協力により、その妥協なき制作態度から生み出された澄んだポエジーに光をあてます。油彩、水彩、素描、コラージュ、墨彩、植物画、地図、消しゴムスタンプ、立体造形、そして詩、童話、挿絵と、極めて多彩な手法で表現された岩田道夫の、まさにワンダーランドをご堪能ください。

## ファンタジー作品

岩田道夫の童話作家・詩人としてのすぐれた才能が、童話と散文詩集『雲の教室』(1987年)、詩集『ミクロコスモス　ノアの動物たち』(1988年)に遺憾なく発揮された。さらにその挿絵や、膨大な数の関連作品が、水彩画やペン画として残されている。





左:
「雲の教室シリーズ」
1986年6月3日
水彩

右:
「ファンタジーシリーズ」
1984年3月26日
水彩

## 油　彩

人物、花、風景のテーマで、それぞれに多彩な作風を示す。勉強を習いに来ていた子どもたちの肖像は、一瞬の表情に永遠の美をとらえて描き取っており、そこには古典的な風格すら漂う。



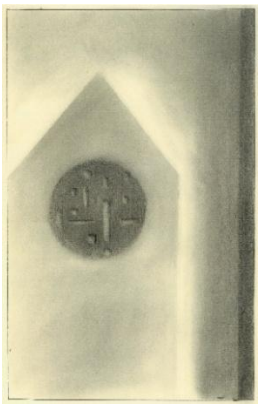
「誰かが私を見ている」油彩　1993年12月～1994年3月



「少女」1994年2月(1998年11月加筆)　油彩

## デッサン

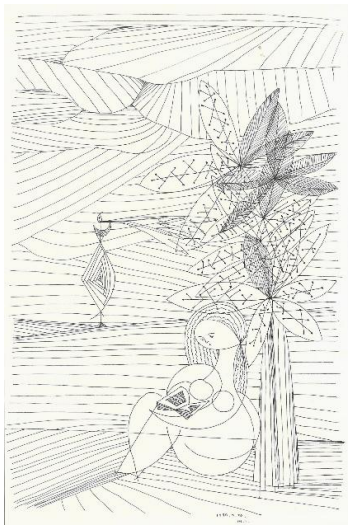
人物、自宅近辺の風景、非現実的な光景、雲の観察から創出したイメージなど、テーマは多岐にわたる。作風も写実、抽象、独自な様式化を加えたもの、奔放な線描など、バラエティに富んでいる。



「冬の日記～1.
my sweet home～」
2010年11月3日
木炭



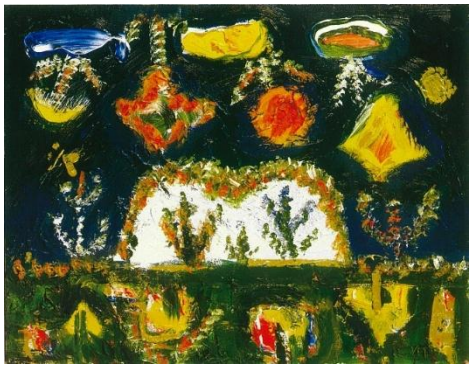
「Aya.S」1991年4月28日　鉛筆



「読書」1977年9月20日　ペン

## 詩画集

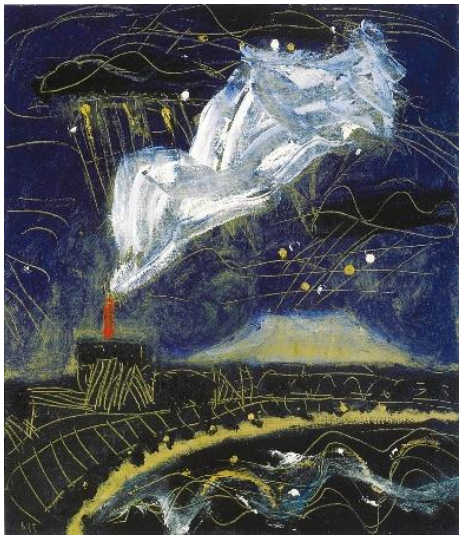
ふたつの詩画集―『チノミシリ』(1996 年)と『はれのちくもり』(2014 年)は、旭川の風景に発した心象画と詩の饗宴だ。両者が一体となって壮大なファンタジーを織りなしている。



「チノミシリ 秋のサーカス」 1992 年 油彩 (詩画集『チノミシリ』に掲載)

秋のサーカス

秋のしずかな夜のことです。
チノミシリの上空で
月がぴりりと口笛を吹くと
赤い三角の雲
金色の星形の雲
ひとでのような雲
様々の色や形の雲が寄ってきて
くるくるとアクロバットをはじめます。
……



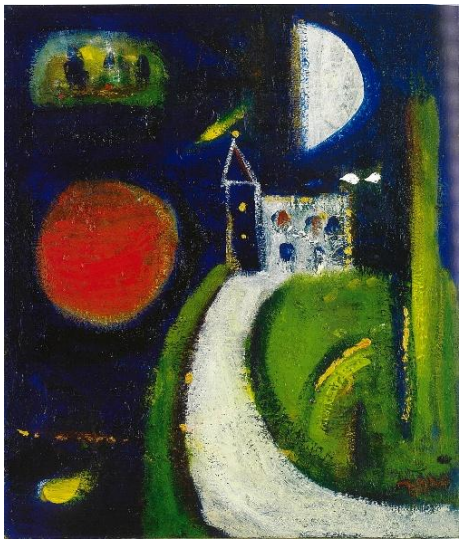
「パルプ工場の煙と牛朱別川の波」 2010 年頃 油彩
(詩画集『はれのちくもり』に掲載)




「Castanea crenata Siebold et Zucc.(栗)」
1988 年 9 月 28 日 水彩

## 植物画

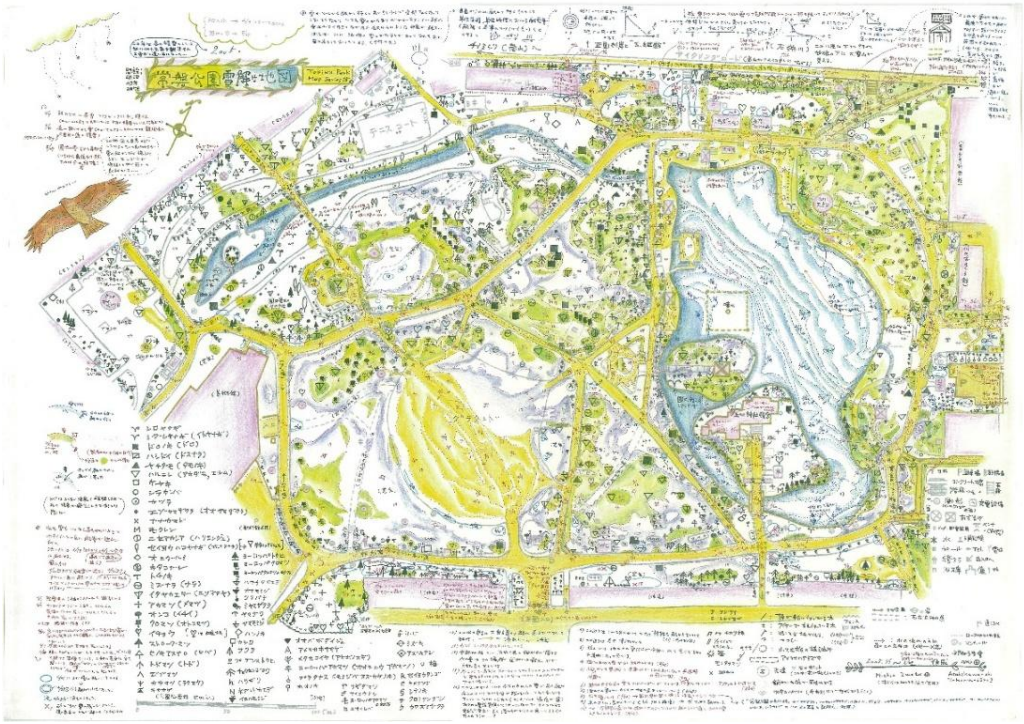
単なる博物画ではなく、植物がその姿でそこにあることの神秘を描き表したかのような作品群。何冊ものスケッチブックを埋める膨大な数が描かれた。



「冬の道」 2010 年頃 油彩 (詩画集『はれのちくもり』に掲載)

## 常磐公園 地図集成

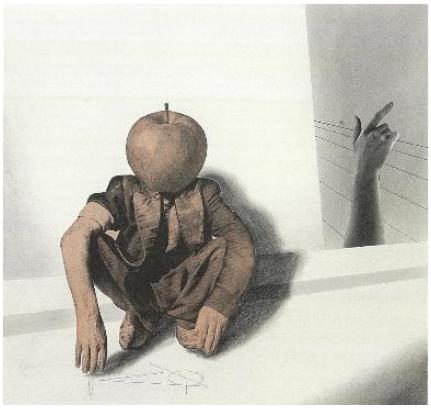
旭川の自宅の正面に広がる常磐公園の地図。
樹木地図、倒木地図(台風による)、雪解け地図、マンホール地図、七不思議地図等々、1 枚ごとにテーマを変え、36 枚が制作された。
A3 サイズのなかに、細密な書き込みがなされ、ユニークな視点による驚くべき量の情報が詰まっている。



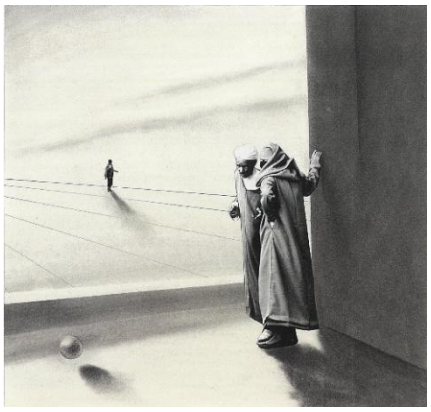

「常磐公園雪解け地図〈2005 年版〉」『常磐公園地図集成』より 2005 年 ペン・色鉛筆

## コラージュ

コラージュは、異なる媒体から切り抜かれたものを貼り合わせて構成する手法。素材の取り合わせ等で、非現実的な謎めいた光景が生み出される。
画面全体の調和が追求され、貼付用素材をコピーするなど、質感への細やかな配慮がなされたという。補助線や数字が記された下図が存在するものもあり、テーマや構図への理知的な関心がうかがわれる。



コラージュ　1977 年 11 月 13 日



コラージュ　1977 年 11 月 18 日

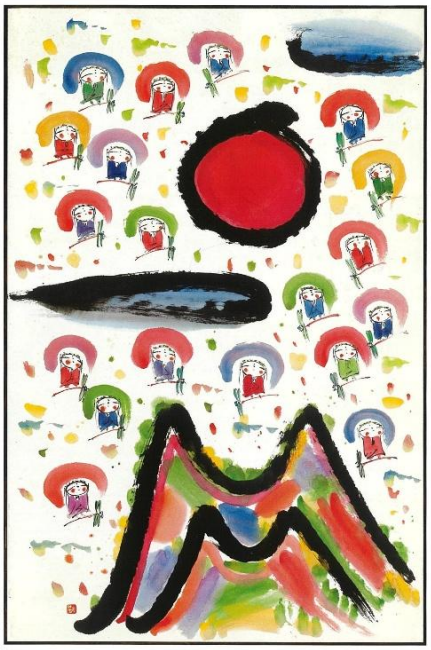
## のんびりほとけさま

トンボや花に乗り、いずれもおおらかな表情をみせる。拝んでも「何のごりやくもない」という。このたくさんのほとけさまたちは、岩田道夫の妥協なき表現追求への緊張感を裏返したところに生れたものかもしれない。

のんびりほとけさまのうた
のんびり秋のほとけさまは
うたっている
とんぼ　とんぼ
ひい　ふう　みい　よ
のんびりほとけさんは
ぼんやり雲を眺めたり
ひい　ふう　みい　よ
とんぼをかぞえたり
うたっていたり
……



「母子菩薩」 1989 年　墨彩



「チノミシリ　のんびりほとけさま」 1990 年　墨彩

## 消しゴムスタンプ

消しゴムを彫って 1000 個余りを制作したという。印影に微細な文字で日付やタイトル、コメントを添えた紙片が多数残されており、手仕事の緻密さ・正確さとともに、奇想天外なユーモアのセンスが見る者を惹きつけてやまない。
消しゴムスタンプによる『古事記』にも取り組み、本文用に 1300 個以上の文字スタンプが制作された。



「消しゴムスタンプ」（2006～2013 年）より

| 岩田道夫　年譜 | |
|---|---|
| 1956(昭和31)年 | 北海道網走市に生まれる。 |
| | 北海道大学理学部入学。札幌市へ転居。 |
| 1981(昭和56)年 | 卒業目前に中退。以後、絵画、童話、詩の創作に専念。童話は佐藤さとる氏に師事。 |
| 1987(昭和62)年 | 童話と散文詩集『雲の教室』を自費出版。 |
| 1988(昭和63)年 | 詩集『ミクロコスモス　ノアの動物たち』を自費出版。 |
| 1989(平成元)年 | 拠点を旭川市へ移す。 |
| 1992(平成4)年 | 『雲の教室』で日本児童文芸家協会新人賞受賞。小学館文学賞最終候補。 |
| 1996(平成8)年 | 詩画集『チノミシリ』 自費出版。 |
| 2014(平成26)年 | 消しゴム刻字による『古事記』、『常磐公園地図集成』、消しゴムスタンプ作品完成。 |
| | 心筋梗塞を発症。7月4日、死去。 |
| | 遺作詩画集『はれのちくもり』を出版。 |
| 2016(平成28)年 | 住まい兼アトリエであった旭川のマンションの一室を改修し、作品展示ギャラリー『ミクロコスモス』を開設。 |
| | 出版社の未知谷に見い出され、岩田道夫著書の出版が始まる。 |
| 2023(令和5)年 | 岩田道夫作品集『岩田道夫の世界』 出版。 |

＊掲載作品はすべてギャラリーミクロコスモス蔵

**会期中のイベントとして、講演会、対談、朗読会、担当学芸員によるトーク、ギャラリーツアーを予定。**
**詳細が決まりましたら、ホームページ、SNS、チラシ等でお知らせします。**

中島公園　北海道立文学館
〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1-4
TEL:011-511-7655
FAX:011-511-3266 https://www.h-bungaku.or.jp/